

2018－2019 年度クラブ運営基本理念と方針について

福岡東南ロータリークラブ
会長 矢頭美世子

2018－2019 年度ハリ－・ラシン R I 会長のテーマは、

「インスピレーションになろう」

ポールハリスが述べたように、ロータリーは世界平和の縮図であり、国々が従うべきモデルです。

“私にとってロータリーは単なるモデルではなく、インスピレーションです。前向きな変化を生み出し、今日直面する課題に、勇気と希望、創造性をもって正面から立ち向かう意欲をクラブ地域社会、組織全体から引き出すために「インスピレーション」となる必要があるのです。”

このメッセージを受け、我が 2700 地区の岡野正敏ガバナー（門司西ロータリークラブ）は「寛容と思いやり、そして和の心」となさいました。そのお心は多様な職業、年代、思考、価値観を背景として、会員の集まりであるクラブ会員を增強し、基盤を高めるには一人一人が「寛容と思いやり」を大切にすることが必要です。

それが心をつにしてクラブという御輿をみんなで担ぐ力となると考えます。”
「和の心」こそロータリーの原点である。クラブを支える原動力となりますとメッセージがありました。

これらの提言を踏まえ、2018－2019 年度東南ロータリークラブ会長としての方針を発表させていただきます。

- ・ 活気ある会員の維持と增強
（前期より女性会員、40 歳未満の会員のアプローチ、アクト応援）
- ・ 変化への対応と覚悟
（東南ロータリークラブらしい 50 周年の迎え方 他）
- ・ 短期ビジョン、長期ビジョンへの挑戦

継続は力なりと言葉があるように、私達の先輩達から学んできた事柄、時代の流れなどしっかりと「学び合い、知り合い、分かち合う」。そして、明るく元気な雰囲気、充実感のある一年を目指してゆきたいと思います。

その為には、毎週の例会をもっとも大切にし、理事会・クラブ委員会との密な関係づくりをと思っております。また、事務局の方々にもお世話いただき、一生懸命努力してゆきたいと思っておりますので、皆様ご協力よろしくお願い致します。